

# とっとり県政だより

2022(令和4)年4月号 通巻744号 毎月1日発行

2022

多くの女性技術者が活躍する株式会社エスジーズ(米子市)。リモートワークの導入など、誰もが働きやすい環境づくりに取り組んでいる(写真提供=株式会社エスジーズ)



## 目次

P2

特集

### 人も会社もみんな輝く

～働きやすい環境づくり～

## P5・6 県政トピックス

- 鳥大付属病院、腎センター開設
- 18歳から成年、消費契約に注意
- 子宮頸がん、ワクチンで予防

## 発達障がいへの理解を

4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です。発達障がいは生まれつきの脳機能の障がい。正しい理解を広げ、誰もが自分らしく生きることができる社会を目指します。期間中は米子コンベンションセンター(米子市末広町)をライトアップ。発達障がいへの理解を願い、「癒し」や「希望」を表す青い光をともします。

☎ 県庁子ども発達支援課

☎0857-26-7865 F0857-26-8136

<https://www.pref.tottori.lg.jp/>

101081.htm



DATA

県人口/546,997人〔男 261,509人、女 285,488人〕  
世帯数/220,356世帯 (2022年2月1日現在推計)

# 人も会社もみんな輝く



## 働きやすい環境づくり

### 多様な人々の労働参加を

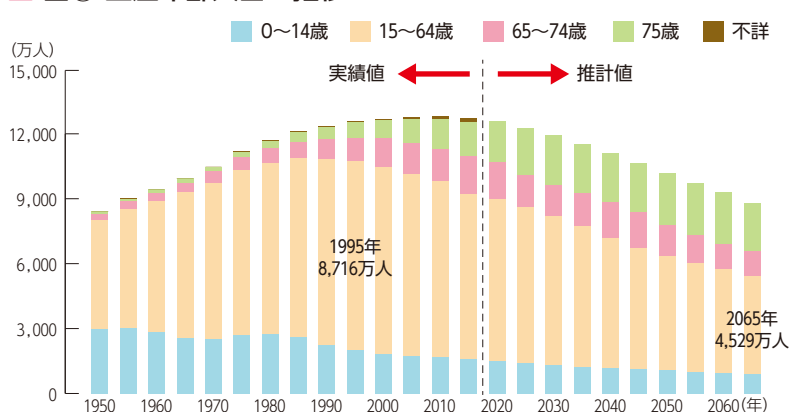
リモートワークで多様な働き方を推進(株式会社エスジーズ)

人手不足を補うために幅広く労働参加が求められる時代。誰もが働きやすい環境づくりが社会の活力につながっています。4月からは育児・介護との両立を支援する新制度がスタート。県も仕事と生活のより良い両立に取り組む企業や労働者を応援しています。

少子高齢化が加速している日本。総人口は2008年をピークに減少に転じ、15歳以上65歳未満の生産年齢人口は、2065年にはピーク時の1995年から半減すると推計されています(図①)。このような中で懸念されるのが、深刻な人手不足。社会機能を維持し、持続的な経済成長を進めていくためには、より幅広い層の労働参加が欠かせません。加えて、ダイバーシティ&インクルージョン(※1)は世界的な潮流。女性や高齢者などの多様な視点・価値観は、社会をより良い方向へ進化させ、誰もが自分らしく輝ける未来へとつながります。

そのためには性別や年齢にかかわらず、誰もが働き続けることのできる環境づくりが必要。仕事のために生活を犠牲にすることがない、子育て

■ 図① 生産年齢人口の推移 (出典:内閣府「令和3年版少子化社会対策白書」より作成)



てや介護のために仕事を諦めることもない、多様で柔軟な働き方の実現が一層求められているのです。

**家庭と仕事の両立を支援**

女性の就業率は近年右肩上がりで伸び続けています。しかし働く女性の約5割は出産・育児を機に退職。アンケート調査によると、4割以上の女性が「仕事を続けたかった

(※1)年齢、性別、国籍などのあらゆる多様性を認め合い、それぞれの個性や能力を尊重し、生かしていく考え方

## 改正育児・介護休業法のポイント

### ■2022年4月1日から

#### 環境づくりの義務化

企業は相談窓口の設置や研修の実施など、育児休業を取得しやすい環境を整備しなくてはなりません。



#### 意向確認の義務化

企業は全ての育児休業対象者に対して、制度の周知や休業の意向確認を個別に行わなくてはなりません。

#### 有期雇用労働者の取得要件の緩和

有期労働者の育児休業取得要件について、「継続雇用期間1年以上」とする規定が撤廃されます。

### ■2022年10月1日から

#### 産後パパ育休制度の新設

育児休業とは別に、父親が子どもの出生後8週間以内に4週間まで休業できる新しい制度が始まります。



#### 育児休業の分割取得

育児休業の期間を分割して2回取得するなど、より柔軟に休業期間を設定できるようになります。

### ■2023年4月1日から

#### 育児休業取得状況の公表義務化

従業員が1,000人を超える企業は、育児休業の取得状況を年1回公表しなくてはなりません。

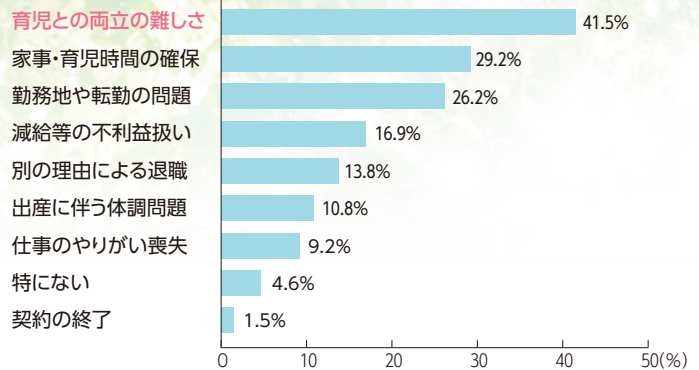


※詳細は厚生労働省ウェブサイトをご確認ください。  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>



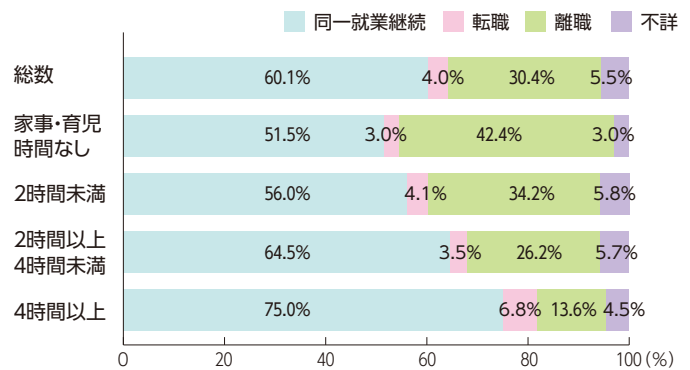
### ■ 図② 妊娠・出産を機に退職した理由 (複数回答)

(出典:厚生労働省資料「育児・介護休業法の改正について」より作成)



### ■ 図③ 夫の家事・育児時間と妻の就業継続率

(出典:厚生労働省資料「育児・介護休業法の改正について」より作成)



が両立の難しさで辞めた」と回答しています(図②)。家事・育児に専念することも尊重されるべき選択ですが、意欲ある人が離職せざるを得ない状況を放置することは、社会的な損失といえるでしょう。一方、日本の男性は国際的にも家事・育児に費やす時間が短いことが知られていますが、夫の家事・育児時間が長いほど、妻の就業継続率も高いことが分かっています(図③)。男性が家庭生活を大切にできる環境が、女性の働きやすさにつながっているのです。

こうした状況を踏まえ、男女ともに家庭と仕事を両立できる社会を目指して改正された「育児・介護休業法」(※2)が、いよいよ施行されます。4月からは育児休業を取得しやすい環境づくりや対象者への周知などが事業者者に義務付けられ、契約社員など有期雇用の労働者の取得要件も緩和。10月からは妻の産休中に夫が取得できる「産後パパ育休」や育児休業の分割取得制度が始まります。両立支援の充実によって多くの人が働きやすい環境となることが期待されます。

(※2) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

## 企業の成長にも貢献

育児・介護の支援だけでなく、  
 ▽長時間労働の排除▽適切な休暇  
 取得▽リモートワークなど柔軟な  
 働き方への対応▽公正な育成・評価  
 システムやハラスメント防止体制の  
 整備、なども労働環境の重要なポ  
 イント。多様な人材がスキルアップ  
 しながら活躍し続けることのでき  
 る環境は、企業の持続的な成長につ  
 なります。労働問題に詳しい大  
 浦綾子弁護士は、「育児・介護との  
 両立によって仕事面での効率アップ



大浦綾子弁護士

も期待できる」と指摘。「労働環境  
 の改善は従業員の定着に有効。企  
 業価値を高め、採用活動でも優位  
 に立てる」と語ります。

働きやすさを高めるためのアプ  
 ローチは、社内制度の整備やマネジ  
 メントの改善、先進技術を活用し  
 た業務改革などさまざま。県や鳥  
 取労働局では、ワークライフ balan

スの向上に取り組む企業や労働者  
 を多面的にサポートしています。  
 個人の価値観やライフスタイル、  
 家族の在り方も多様化している現  
 代。労働環境も時代の変化に合わ  
 せたバージョンアップが重要です。  
 誰もが生き生きと働き続けること  
 のできる社会は、一人一人の心豊  
 かな人生を支え、活力ある未来へと  
 つながっていきます。

問 県庁とっとり働き方改革支援センター  
 ☎ 0857・267662  
 📠 0857・268169  
 📧 hataraki-kakaku@pref.tottori.lg.jp

## 働き方の拡大 社員の安心感に

株式会社エスジーズ(米子市)  
 ITシステムチーム 主任  
 やぶうち  
 藪内 まゆみさん



株式会社エスジーズは、公共事業の測量設計  
 や地質調査などに携わる総合建設コンサルタント。男性が多い業界の中、出産や育児の手厚い支  
 援によって女性技術者が数多く活躍していること  
 でも知られています。昨年はコロナ禍を機にリ  
 モートワークを導入し、在宅でも遜色なく仕事が  
 できる環境づくりに取り組みました。制度を担当  
 する藪内まゆみさんが最も重視したのは、社員そ  
 れぞれの立場における課題や不安を丁寧に解決  
 すること。「皆の納得が得られなければ、多様な働  
 き方は長続きしません」と強調します。利用した社  
 員からは「保育園に預けられない時に助かった」  
 「新型コロナ流行中でも自宅でも安心して仕事が  
 できた」など評判も上々。働き方の選択肢の拡大が  
 「どんな状況でも仕事が続けられる」安心感につ  
 ながっているといいます。

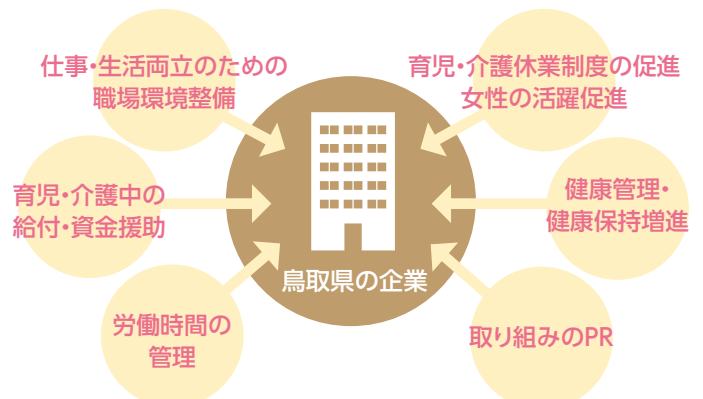


打合せや協議もリモートで

今後はリモートワーク環境の充実に加えて、  
 イーラーニング(※)による技術者育成なども計画中。  
 社員の意見に耳を傾けながら、さらなる発展を  
 目指します。昨年改名した新しい社名に込められた  
 意味は「すごい(S)技術者(G)集団('s)」。たゆま  
 め研さんと多様な人生経験を支える環境が、会社  
 を担う人間力豊かな技術者を育てています。

(※)インターネットを用いて行う教育・訓練システム

### ■ 県・労働局の支援イメージ





## 専門性高い医療と人材を提供 ～鳥大付属病院、腎センター開設～



### 増加する腎臓病への医療を強化

鳥取大学医学部付属病院  
副病院長 武中 篤さん

県内では高齢化や生活習慣病の増加に伴い、慢性腎臓病の患者が増加しています。もし腎不全に進行すると、腎代替療法と呼ばれる血液透析、腹膜透析、腎移植などの治療を余儀なくされます。増加している腎臓病の治療に対応するため、鳥取県からの支援も受けて、4月から「とりだい病院」内に腎センターを開設します。先進的治療の中心となることはもちろん、専門医の育成による県内腎臓病治療の均てん化（※）、かかりつけ医との連携促進、啓発活動など、県民の皆さんのご要望に応じてまいります。

※地域格差をなくし、どこでも等しく高度な医療を受けることができるようにすること

### 腎疾患の現状

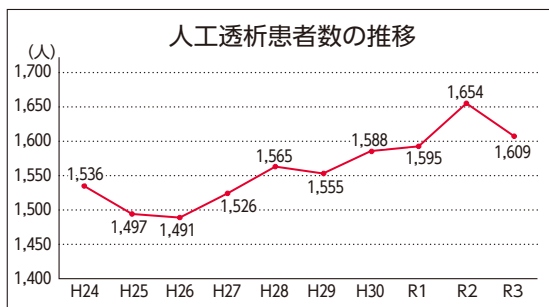
#### ○新たな国民病、慢性腎臓病(CKD)

腎機能が慢性的に低下していく慢性腎臓病。発症や進行には、高血圧、糖尿病などの生活習慣病との関連が強く、食塩の過剰摂取といった食生活も大きく関係しています。20歳以上の約8人に1人が患者と推計され、新たな国民病といわれています。

※CKDはChronic Kidney Diseaseの略

#### ○県内の透析患者数

県内の人工透析患者は増加傾向にあり、2021年は1,609人でした(下グラフ参照)。



出典:公益財団法人鳥取県臓器・アイバンク「鳥取県の移植事情」



腎センター透析室(写真提供=鳥取大学医学部付属病院)

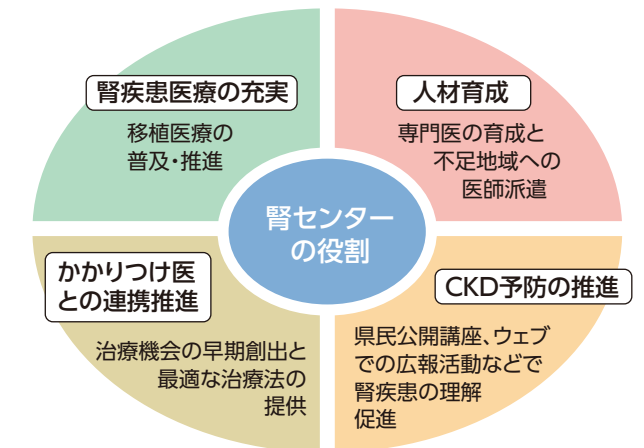
鳥取大学医学部付属病院に今年4月、「腎センター」が開設されます。このセンターは、腎臓疾患の専門医育成と腎移植の中核を担う施設。腎疾患医療の充実と向上を目指します。

末期腎不全の治療法の一つである透析。透析患者は、全国的に増加傾向にあり、鳥取県もその例外ではありません。透析治療は、さまざまな合併症や透析関連のトラブルに対処できる専門医が不

可欠ですが、県内の専門医は少数。腎臓病の治療に精通し、急増する高齢患者の診療も行える専門的かつ幅広い知識・技能を備えた人材の育成が求められています。

また、県内には腎不全の要因である糖尿病の患者・予備群が約5万人。こうした人たちが透析に至らないよう、早期に専門医の治療につなげる仕組みの構築も必要です。

これらの課題解決に向けて、センターでは充実した指



問 県庁医療政策課

☎0857-26-7182 ☎0857-21-3048

✉iryouseisaku@pref.tottori.lg.jp



## 知識と心構えでトラブル防止 ～18歳から成年、消費契約に注意～

### 民法改正後の成年となる日

誕生日が2002年4月2日から04年4月1日までの人は、今年4月1日に成年に達することになります。

生年月日	成年となる日
02年4月1日以前	20歳の誕生日
02年4月2日から04年4月1日	22年4月1日
04年4月2日以降	18歳の誕生日

### 相談窓口

#### 消費者ホットライン ☎188

市町村や県などが設置している消費生活相談窓口につながります。



問 県消費生活センター

☎0859-34-2765 F 0859-34-2670

✉shohiseikatsu@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/298225.htm>



※訪問販売や電話勧誘販売などで購入契約をした消費者が、一定期間内なら無条件で契約を取り消すことができる制度

4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられます。今後は18歳から自分の判断で契約の締結が可能。成年になるに当たり、契約に対する知識と心構えを身に付けておくことが大切です。

成年になると、クレジットカードの作成や携帯電話の購入などが一人でできます。未成年者がこうした契約を親の同意なしに行った場合、原則取り消すことができますが、4月以降に18歳・19歳が行った契約は取り消すことができません。

20歳代前半の消費トラブルの相談件数は、未成年者より多く、金額も高額。被害を未然に防ぐには▽契約前によく考える▽うまい話をうのみにしない▽クーリングオフ制度(※)の活用など、契約時の注意点を周囲の人がしっかりとアドバイスしておくことが重要です。

疑問や不安を感じたら相談窓口にご相談ください。

## 女性の命と未来を守る ～子宮頸がん、ワクチンで予防～

### 接種の対象となる人

ヒトパピローマウイルスの感染を効果的に予防するため、公費(無料)接種は10歳代前半の女性を対象としています。

接種の詳細は、市町村からの案内を確認してください。

対象者	接種期間
小学6年生から 高校1年生相当の女性	対象年齢の期間
【キャッチアップ接種】 1997年度生まれから2005年度生まれの女性	2025年3月まで

### 検診も忘れずに

子宮頸がんは多くの場合、早期発見・早期治療によって治すことができる病気です。ワクチン接種の有無にかかわらず、20歳代から定期的に検診を受けましょう。



問 県庁健康政策課

☎0857-26-7153 F 0857-26-8143

✉kenkouseisaku@pref.tottori.lg.jp

12歳～16歳の女性を対象に、子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨が再開されました。年間1万人以上が罹患し、約3千人の女性が亡くなっている子宮頸がん。ワクチンで守れる命があります。

子宮頸がんの発生には「ヒトパピローマウイルス」が関係しており、感染を防ぐワクチンによって原因の50%～70%を予防することが可能。世界100カ国以上で公的なワクチン接種が行われ、高い効果

が認められています。日本では接種後の副反応の情報を整理するため、2013年から積極勧奨が停止されていたことが、最新の知見を基に安全性・有効性を改めて確認。積極勧奨の再開と併せて、接種機会を逃した人を救済する「キャッチアップ接種」の実施が決定されました。

対象者には順次市町村から案内が送付されます。命と未来を守るため、ぜひ接種を検討してください。



## 読者の声 (2月号の意見・感想から)

- 特集で、<sup>ソサエティ</sup>Society5.0について初めて知りました。暮らしをより豊かにするための取り組みとして関心が高まりました。(30代)
- 特集で、マイナンバーカードの健康保険証利用が昨年10月から始まっていることを知りました。早速手続きしたいです。(50代)

- 子どもが被害に遭わないように、インターネットの環境を管理したり、危険性を話し合ったりしたいです。(40代)
- コロナワクチンの追加接種の効果に関するデータが参考になりました。自分に合うワクチンを考えてみます。(20代)

- 県立美術館の記事を読んで期待が膨らんでいます。何度も訪れたい場所になるようアイデアを出していきたいです。(60代)



2月号には1,195人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



## 県産品プレゼント

応募締め切り 4月20日(水)必着

### 温泉いちごコンポート(150g) [5名]

「温泉いちご」とは、温泉熱を利用して栽培されたいちご。鳥取県のオリジナル品種「とっておき」から作ったコンポートです。そのまま食べるほか、ヨーグルトやアイスクリーム、パンケーキのトッピングとしても使えます。



ハイブリッド

問 株式会社メイワファームHYBRID鹿野ハウス(鳥取市鹿野町)  
☎080-3798-8705 📠0857-31-3900

**応募方法** クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見を書き、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ホームページ応募フォーム  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



4月1日から、〇〇年齢が20歳から18歳に引き下げられます。〇に入るのは次のうちどれでしょう。

ヒントは  
6頁

- ① 少年      ② 成年      ③ 青年

◎2月号のクイズの答えは「①5.0」でした。



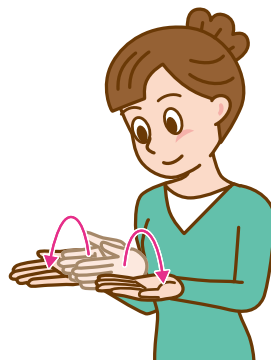
## 手話を覚えてみよう……「本を読む」

知識や情報の源となるだけでなく、遠い国々や非日常の世界に行った気分が味わえる本。私たちの想像力や心を豊かにしてくれます。

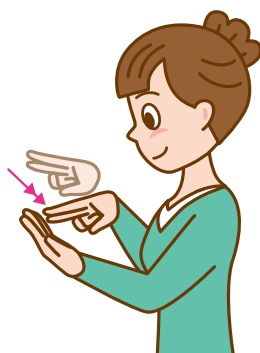
〈手話は一例です〉

県教育委員会では、子育てサークルや幼稚園・保育所、小学校の保護者会などに「子ども読書アドバイザー」を派遣しています。読み聞かせの方法、本の選び方などが学べます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/171039.htm>



両手のひらを合わせ、小指側を軸にして開き



左手のひらに向けた右手2指の指先を2回下ろす

監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ☎0859-30-3720 📠0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>





## キャベツと卵の ふわふわ炒め

春キャベツの甘みとシャキシャキした食感が楽しめます。

【協力】鳥取県食生活改善推進員連絡協議会

### 【材料】(4人分)

キャベツ……………6枚	こしょう……………少々
シメジ……………1/2パック	濃い口しょうゆ…大さじ1
ネギ……………1本	酒……………大さじ1/4
卵……………3個	サラダ油……………大さじ2
みりん……………大さじ1	ごま油……………小さじ1
塩……………少々	

### 【作り方】

- ①キャベツは食べやすい大きさに、ネギは斜めにそれぞれ切り、シメジは石突きを取って小房に分ける。
- ②卵を溶きほぐして、しょうゆ、みりん、酒を加える。
- ③サラダ油を入れて加熱したフライパンに②の卵を流し入れ、箸で大きく混ぜてふわふわに仕上げたら、皿に取り出す。
- ④フライパンに①を入れてさっと炒め、塩・こしょうで味を調える。
- ⑤③の卵を④に戻して炒めたら、ごま油を回しかける。

## お知らせ

### 「とっとり施設予約サービス」のリニューアル

ウェブで公共施設の空き状況検索や予約ができる「とっとり施設予約サービス」。4月からより便利になります。

#### 【便利になるサービス】

項目	旧システム	新システム
対象施設	県立、鳥取市立のみ	米子市立のスポーツ施設が追加
ウェブ予約	スポーツ施設のみ	県立・鳥取市立の文化施設も可能に
ウェブ決済	×	○(一部の県立施設のみ)

新「とっとり施設予約サービス」

<https://p-kashikan.jp/tottori/>

☎ 利用予定の公共施設または県庁行財政改革推進課

☎0857-26-7088 ☎0857-26-7616



### 悩み事の相談、<sup>ライン</sup>LINEで受け付け

病気や心の不調、人間関係の悩みなど、あらゆる相談を受け付けています。専門の相談員が一人一人に寄り添って対応します。

☎ 毎週月・水・金曜日、毎月第2・4土曜日  
4月6日(水)～9日(土)、5月4日(水)～7日(土)  
8月22日(月)～27日(土)  
2023年1月4日(水)～7日(土)

◎ 相談方法 / LINE (IDは「@tottorisns」)

☎ 午後5時～9時

☎ 県庁健康政策課

☎0857-26-7769 ☎0857-26-8726



厚生労働省鳥取労働局委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」



## 60歳以上 あなたの活躍の場は シルバー人材センター

## 会員募集中!!

女性の皆さん大歓迎!!

入会申込、お問合せは  
あなたの町のシルバー人材センターへ



### お仕事の一例です!

これ以外にもいろいろな仕事がたくさんあります

一般事務  
経理事務  
資料整理

介護補助  
調理補助  
販売補助

賞状筆耕  
宛名書き  
梱包作業

障子・襖  
網戸の張替  
室内外の掃除

剪定・草刈  
墓地清掃  
農作業補助

製作加工  
(工場内での  
軽作業)

施設管理  
物品管理  
駐車場整理

地域活性化のため  
あなたの力が必要です!

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会  
TEL.0859-37-2531 FAX.0859-37-2537

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地  
URL <https://www.torisilver-ren.com>



※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。